



# ①自治体の実情プロジェクトの概要：教育ビジョンについて

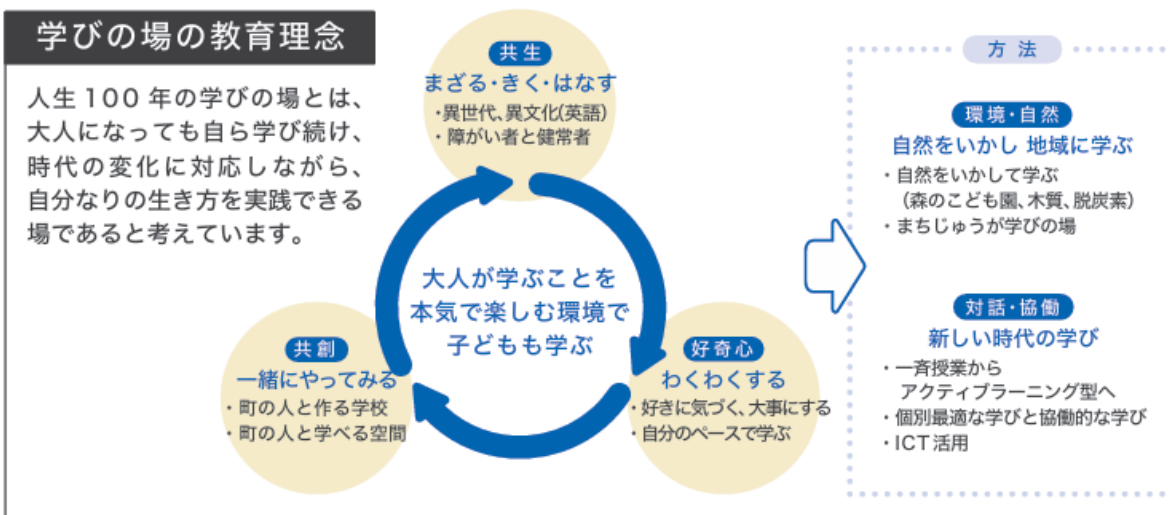
## 中頓別町では、

- ▶町民一人ひとりのウェルビーイング向上を目指し、教育を核としたまちづくりが進行中。  
その中核となるのが、「人生100年学びの拠点・中頓別学園」プロジェクトであり、「地域全体を学びの場」と見立てた先進的な構想です。
- ▶文部科学省 令和4年度 新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業成果報告を土台に、現状と社会の動向に合わせてブラッシュアップしながら具体化を進めています。
- ▶義務教育期間終了後の長い人生を、どのように生きていくのか。そのためにはどんな学びの場が必要なのか。地域の未来になくってはならない学びの拠点づくりをめざしています。



中頓別町  
コミュニティデザインの手法を活用した  
人生100年の学びの拠点づくり

文部科学省 令和4年度  
新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業 成果報告



文部科学省  
令和4年度  
新しい時代の学びの環境整備  
先導的開発事業成果報告書より

[mailto:https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/seibi/1372577\\_00001.htm](mailto:https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/seibi/1372577_00001.htm)

# ①自治体の実情プロジェクトの概要：教育ビジョンについて

## 幼小中一貫義務教育学校「中頓別学園」は、

- ▶児童数約60名の「中頓別小学校」、生徒数約30名の「中頓別中学校」を義務教育学校として再編成。
- ▶英語教育や自然体験活動など地域の特色ある教育を、こども園の教育課程と接続させ、あらたに架け橋プログラムなどの充実を図りながら12年間を見通した教育課程の一貫を進めていきます。
- ▶4つの教育の柱で教育を展開し、R8年度仮校舎での開校、R9年度に新施設への移転を予定しています。

### これまでの取り組みからまとめた 「中頓別学園の教育 4つの柱」

- ▶①「**幼児教育積み上げ型**」  
こども園から取り組んでいる「体験活動や英語教育」
- ▶②「**先導的学び**」  
一人一人合わせた個別最適な学習とUDL教育
- ▶③「**教育委員会協働型**」  
地域と創る学校、地域全体が学びの場
- ▶④「**教育と支援の融合**」  
だれ一人取り残さない居場所だらけの学校

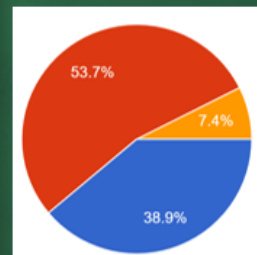


©中頓別町教育委員会新しい学校づくり推進室 murota

### これまでの取り組み 108名/114名中 95% 「再検証R7年4月保護者アンケート」②

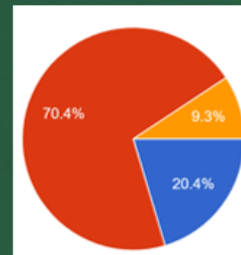
- ◎大いに期待する
- ○期待する
- △あまり期待しない

①幼児教育積み上げ型  
(体験活動・英語)



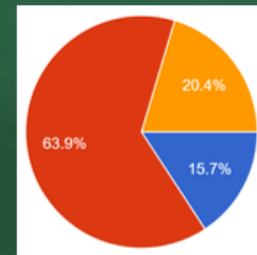
期待度と評価が高い

②先導的学び  
(UDL教育)



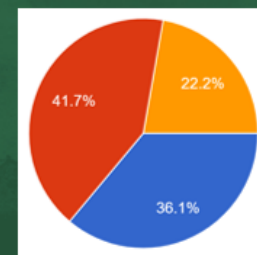
一般的に期待が高い

③教育委員会協働型  
(地域と創る学校)



子ども達との差がある

④教育と支援の融合  
(居場所だらけの学校)



立場の違い、共生へ

約8割以上の期待度を検証 → 丁寧な分析を継続し、教育課程、効果評価指標へ反映

©中頓別町教育委員会新しい学校づくり推進室 murota

- ▶学園の教育が始まる前から教育の内容を見童生徒・教職員と「対話形成」しながら進めています。

## ②自治体の実情プロジェクトへの期待

### このプロジェクトに参加した理由

- ▶先進的で先行事例が少ない取り組みのため、今回の連携協定を通じて、東京学芸大学の知見を活かし、地域に根ざした持続可能な教育ビジョンの策定と実践を進めていきたいと考えています。

### 指標づくり・可視化に関する期待

- ▶地域に根ざした持続可能な教育実践に結びつけるために、客観的な指標と可視化された評価から検証・改善サイクルの展開を期待しています。
- ▶幼小中一貫の義務教育期間終了後も積み上げた教育が子どもたちの未来を拓く生きる力として活かされるための伴走を専門的視点でお願いしたい。

### 今後の教育ビジョンや施策にどのように活用していきたいか

- ▶本プロジェクトが、教育のみならず、地域全体の活性化と幸福度の向上につながることを期待しています。

すでにご支援いただいている  
教職員との対話  
保護者との対話  
地域・子ども達との対話



# ③ 具体的取り組み：このプロジェクトで実施したい取組

## 1、教育ウェルビーイング指標の開発の協働

「人生100年の学びの拠点・中頓別学園」の準備段階、実践段階において、学びの効果・変容をウェルビーイングの観点から可視化し、変容を評価していきます。

## 2、中頓別学園の教育4つの柱に関するカリキュラム開発の協働

地域の特色を生かし、子どもたちが地域を理解し、誇りを持つとともに、主体的に学ぶことができる学習者を育てるための枠組みについて研修を重ね実践化し、子どもたちが地域社会の課題解決に取り組む力を育成します。

## 3、研修の強化

教職員、教育委員会職員が常に学び続け、最新の教育実践を共有する場を提供すること。大学の研究者と実務者が直接交流する機会を設けることで、教育現場のさらなる充実を目指します。

## 4、学生との交流

短期体験型インターンシップ等、学生が中頓別町を訪れ子どもたちや町民と交流を図るなど地域の活性化を目指します。

## 中頓別町教育大綱

- ▶ 「共生」対話を通して多様な価値観の中で学ぶ
- ▶ 「好奇心」わくわくすることを大切にする
- ▶ 「共創」一緒にやってみる、の実現に向けて、共に進めていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。  
引き続きよろしくお願いいたします。

